



気をつけて・・・冬場に多い“低温やけど”

●やけどの主な原因

高温のストーブ、ヤカンの熱湯とその水蒸気、てんぷら油、ラーメンの汁、アイロンなど。以外に多いのが、携帯用カイロの“低温やけど”。中にはホットカーベットや電気アンカ、電気毛布なども。低温（45℃程度）で長時間同じ皮膚に接触することによって起こります。

●症状 やけどの深さにより3段階に分類されます。

- 1度 赤くなる、ヒリヒリした痛みがある。〈表皮のみ〉
- 2度 水ぶくれでき、その下が赤い。痛みが強い。〈真皮まで〉
- 3度 皮膚は青白くなる。痛みは無い。〈皮下脂肪まで〉



●応急処置

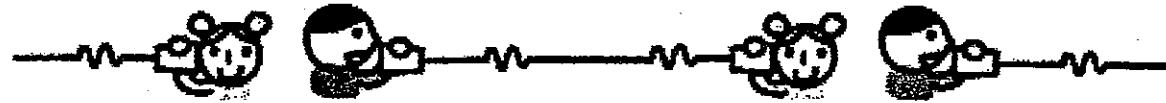
冷たい水で冷やす。（やけどの部位を流水で10～20分間冷やす。）

顔などは、冷たいタオルや氷入りのビニール袋を作り清潔なタオルでくるんで冷やす。洋服の上からやけどをした場合は、無理に脱がせると皮膚を破る危険性があるので、洋服の上から水をかけて冷やす。

水ぶくれはつぶさない。冷やしたあとは清潔なガーゼで軽く覆い、すぐ病院へ。

低温やけどは、見かけ以上に組織を破壊している事があるので、まず病院へ行きましょう。

あけましておめでとうございます。本年も訪問看護ステーションをよろしく
お願い致します。「美」や「善」などよきものを表す言葉には多く「羊」の字がつい
ている…そうです。今年はその縁起のいいひつじ年です。皆様とともに夢に向
かって飛翔したいと思います。ところで、眠れない時に羊を数える訳をご存知
ですか？ お知りになりたい方はステーションまでおこし下さい。



寒原先生より

国の統計によれば、日本の総人口は2006年にピークを迎え、その後は徐々に減少に転じるとのこと。2003年には高齢化率(全人口に対する65歳以上の割合)はイタリアを抜いて世界一になり、2025年には総人口の31%余りで世界一。平均寿命も2000年で女性84.62年、男性77.64年。更に2025年には、女性は89.44年、男性83.85年になると推計されている。まさに人生90年時代である。また、日本の高齢化のスピードも群を抜いて世界一である。高齢者の高齢化も更に進み、65歳以上人口に占める75歳以上人口(オールド・オールド)の割合は2000年39.9%から2025年には59.1%となり、やはりこれも世界一になると推定されている。高齢化が進めば当然要介護人口も増え、介護負担も増える。しかし、少子高齢化も進み家族による介護能力も低下し、2005年に最低位になるとのこと。

急ピッチで進む高齢化社会。まさに時代のニーズに応えた介護保険が始まってまもなく3年。今が正念場。これから高齢者医療・福祉・介護を正しい方向に導くには有識者一辺倒ではなく、第一線の現場で働く人たちの意見や在宅で介護をされている人たちの意見を取り入れ、高齢者がいかなる介護を望み、最期を如何に迎えようとしているのかを真摯に受けとめなければならない。

特別養護老人ホーム入所待ち1000日が何を意味するのか(ちなみに姫路市では、14年6月時点で待機者数1,963人)、国が目指すケアハウスが本当に必要なのか。何でもかんでも欧米の猿まねではなく日本の文化、日本人の価値観に基づいた、真に安心して老後を迎えることができる日本独自の医療・福祉・介護を目指さねばなりません。

こうなると65歳は老人ではありません。幸い65歳以上の健康な高齢者は増えるとの見通し。これらの健康な高齢者をASSETSとする事も必要になるでしょう。そして“高齢者とは75歳以上”となる日もそう遠くはないようです。

がんばら医院 寒原誠一

おすすめ一編 ♪♪ ♪♪ ♪♪ ♪♪ ♪♪ ♪♪ ♪♪ ♪♪ ♪♪ ♪♪

桑田 佳祐 「白い恋人達」より

聖なる鐘の音が響く頃に 最果ての街並みを夢に見る
天使が空から降りてきて 春が来る前に微笑みをくれた

心折れないように負けないように Loneliness
白い恋人が待っている
だから夢と希望を胸に抱いて Foreverness
辛い毎日がやがて White Love



心折れないように負けないように、あなたの傍にも天使が降りてくる。